

2 地域課題解決型キャリア教育「烏山学」の概要

【目的】

創立10周年を迎え、「グローバル人材の育成」と「将来、地域社会で活躍するリーダーの育成」という、地域社会から期待される役割をより力強く果たすため、生徒を地域に送り、地域に学ぶ地域課題解決学習を通して、生徒の自ら課題を発見し解決を図る思考力や判断力、社会参画等の実践力を育成すると共に、より質の高い進路実現のためのキャリア教育の充実を図る。

【対象生徒】 1学年179名（ただし開講式は全学年）

【指導教員】

- ・1学年職員、教科「情報」担当者、烏山学担当者、教務（時間割調整）
- ・烏山学アドバイザー：宇都宮大学地域デザイン科学部コミュニティデザイン学科若園雄志郎准教授

【実施日程】

- | | |
|--------------------------|----------------|
| (1) 烏山学開講式 | 7月12日（水）6時限 |
| (2) 烏山学ガイダンス | 7月19日（水）7時限 |
| (3) 山あげ行事への参加 | 7月20日～23日（希望者） |
| (4) 共通プログラム「山あげ体験学習」 | 9月30日（土）午後 |
| (5) 選択プログラム（事前オリエンテーション） | 10月25日（水）6・7時限 |
| (6) 選択プログラム（フィールドワーク） | 10月26日（木）終日 |
| (7) 烏山学全体発表会 | 1月17日（水）5～7時限 |

【実施内容の概要】

■烏山学開講式・ガイダンス

那須烏山市長と山あげ保存会会長を招き、挨拶をいただく。ガイダンスでは烏山学担当より、烏山学を学ぶ意義やスケジュール、各プログラムの内容等について説明する。

■共通プログラム「山あげ体験学習」

山あげ行事について、地域の方々のご指導を受けながら山を組み立てるなど、自分たちで準備を行い、実際に山をあげ、その後舞台公演を鑑賞する体験的な学習を通して、ユネスコ無形文化遺産に登録された山あげ行事の醍醐味を理解し、さらに山あげ行事の視点から見えてくる地域の現状や課題を理解する。

■選択プログラム（事前オリエンテーション）

大学の先生や市職員、企業関係者などを外部講師として烏山高校に迎え、それぞれの研究内容、活動内容について講義していただく。その際、ご自身に関わる活動内容についてどのような課題を感じ、その解決策として何を考え、どのような活動をされているのかについても言及していただく。

■選択プログラム（フィールドワーク）

那須烏山市周辺で、地域の課題解決に向け活躍されている地域の方を講師として、生徒が校外に出て、講師の指導の下、体験活動を行う。その際ただ体験を行うのではなく、生徒が進路について考えたり、生徒自らが課題を体感し、あるいは課題を見つけ、解決のためどのような方策が有効か、そして自分達に何が出来るか、課題解決に向け考えることを目的とする。プログラムによっては、外部講師が所属する大学の学生も共に活動を行う。

■フィールドワーク終了後、11月の教科「情報」の時間を活用して、各自の活動内容や感想、各自が考えた課題や課題解決策等を、プレゼンテーション資料にまとめる。

■12月、教科「情報」の時間を活用して作成した資料を使ってクラス内で発表し合う。

■烏山学全体発表会

クラス内発表を通して選ばれた代表者が発表を行う。講評は宇都宮大学地域デザイン科学部若園准教授にお願いする。全体発表会には、保護者をはじめ、市長、事前オリエンテーション・フィールドワーク協力者、市職員、地域住民なども烏山高校に招く。